

市民推進会議広報誌第 37 号企画案

1. 広報誌の概要

横浜みどりアップ計画市民推進会議は、横浜みどりアップ計画を市民目線で評価・提案、市民のみなさんへ情報提供をする、市民参加の組織です。

この広報誌は、市民推進会議やその活動の紹介を通して、多くの方々に横浜みどりアップ計画や横浜みどり税を知ってもらいきっかけとなることを目指します。

検討事項：編集の方針

みどりアップ Q を継承し、みどりアップ計画に関わる人や団体へのインタビューを行う。市民委員のみなさんにみどりアップ事業の現場で実感・体験したことを、「市民目線」で横浜の緑をレポートし、市民の人がその場へ「行ってみよう」「見つけてみよう」と思えるような緑の魅力が伝わるような紙面とします。

～参考～

第1期 濱 RYOKU : みどりアップ計画の事業内容や実績、市民推進会議の活動について紹介。

第2期 みどりアップ Q : みどりアップ計画に関わる人や団体へのインタビュー。顔が見える広報誌。

主な対象：横浜みどりアップ計画や横浜みどり税を知らない市民

版型：A4（A3二つ折・両面）

部数：21,000 部

配布先：横浜市PRボックス（公共施設、駅、図書館、各区公会堂、病院等）、区役所、土木事務所、区民活動支援センター、市民情報センター等

編集：横浜みどりアップ計画市民推進会議 広報・見える化部会

発行：横浜みどりアップ計画市民推進会議事務局（環境創造局政策課）

2.紙面内容

1ページ（表紙） ①

手に取りたくなるような表紙。中面の特集（インタビュー記事）に合わせた写真をメインビジュアルとし、人の顔が見える、いきいきとした写真が表紙を飾ります。

2ページ 「市民レポーターがゆく 横浜みどりアップの現場」 ②

横浜みどりアップ計画が進められている現場を、市民レポーターが取材します。活動している方々や団体、関係者に、活動に関るようになったきっかけや良かったこと、課題などをインタビューします。

3ページ 「ここが魅力！」 ③

読み手が、その場所に行きたくなる、触れたくなるような魅力を市民レポーターが取材する中で知ったこと、感じたことを「市民目線」で伝えます。

3ページ 用語解説コーナー ④

必要に応じて、事業の紹介を解説するコーナーを設けます。

4ページ 「市民推進会議活動報告」、その他お知らせ・コラムなど ⑤

市民推進会議活動の紹介（調査部会や本会の様子など）や、横浜みどり税との関係、市民推進会議との関わり、その他お知らせを掲載します。その他、委員が記事にしてみたいことをコラム形式で掲載します。

3.第37号の紙面内容等について

検討事項：記事のテーマ案

テーマ案 『(仮)農の魅力を知ろう』

- ・事前アンケートで意見の多かった柱2に関することを取り上げる。
- ・実際に市民が農に触れ合うきっかけの場となっているイベント「あぐりツアー」に参加して、当日感じたこと・学んだことをレポートする。

取組名：市民が農を楽しみ支援する取組の推進

取材先：農ある横浜あぐりツアー（10月5日開催）

取材参加者：〇〇

あぐりツアー概要

【参加者募集】中学生以下の親子30組（抽選）を対象、9月1日から募集開始

【日時】10月5日（土）13:00～16:00

【ルート】いずみ野駅→さつまいも掘り（泉区）→牧場見学（瀬谷区）→直売所（瀬谷区）→いずみ野駅

〈紙面イメージ〉

1ページ 表紙(写真)

2ページ 当日レポート記事

内容例: ツアー概要、参加者の様子、農家の様子、みどりアップへの今後の期待

3ページ 農の魅力

ツアーの中で学びのポイントを紹介する(例: 収穫のコツ)

ツアー訪問箇所の紹介

4ページ コラム案① 調査部会の報告レポート

コラム案② どなたかの得意分野で! (みどりアップとは直接関係なくても)

他 インスタグラムの紹介(フォロワー増やしたいので)

レイアウト案 「配布資料2-2」参照

4.発行スケジュール(年2回)

36号 …令和元年11月(8月取材済、9月部会(編集会議)、10月デザイン・印刷)

37号 …令和2年2月(10月取材、11月部会(編集会議)、12月デザイン・印刷)

38号 …令和2年秋ごろ(6~8月取材、7~9月部会(編集会議)、8~10月デザイン・印刷)

5.役割分担

編集長…部会長(補佐 事務局)

写真…事務局

デザイン…事務局

記事…(インタビュー記事)委員、(計画の説明など)事務局

6.第38号の紙面内容等について

検討事項: 記事のテーマ案

テーマ案 柱3関連

・次回以降の部会でテーマを検討します。